

# 人生の節目を迎えた時に サポートとなったホメオパシー

CHhom10期卒業 坂田 麗湖

【ケース】 Yさん 女性 50代

【主訴】

- ・ 目の問題…疲れやすい。老眼がすすんでいる
- ・ 不眠 …寝つきが悪く浅い。
- ・ 高血圧 …ストレスや睡眠不足が重なると特に高くなる。そういう時に血圧を測ったら220だった。

## 【家族構成】

- 父 肝臓がんで亡くなる。（1歳の時）  
特攻隊の教官で教え子を送り出す側だった。  
戦後はPTSDによりアルコールに依存的だった。
- 母 ASLで亡くなる。（23歳の時）
- 姉 脳性麻痺の重度障害寝  
Yさんが幼少期に亡くなる。  
年の離れた姉の存在は記憶にない。
- 兄 2歳年上
- 夫 アルコール依存症
- 子供 二人

## 【1回目処方】

サポート肝臓

朝 Calc-phos. LM1

昼 Carc. LM2

夜 Ign. LM3

## 【主な選択の根拠】

- ・ 肝臓サポート

ストレスや睡眠不足があり肝臓に負担をかけている。目は肝臓の影響を受けやすい器官と考えられている。

- ・ Carc. 幼少期の頃から心の抑圧がある。

- ・ Ign. 不眠、目の症状、肩こり、  
高血圧 ストレスで悪化、肉体的消耗  
Yさんの症状に合うレメディー

## 【経過】

- ・レメディーをとっている途中に「睡眠の状態がよくなり、12時～6時まで眠れるようになった。」とLINEがきた。  
以前は1時に寝て5時に起きる生活だった。
- ・目の奥の凝りが軽減した。
- ・旦那さんの状態が安定しているためストレスがかかることが少なかった。

## 【3回目処方】

サポ一卜 ThujVOM5 + Gundar-w. 30C

朝 Mag-c. LM7

昼 Sulph. LM8

夜 Ign. LM9

## 【主な選択の根拠】

- ThujaVOM5

幼少期の扁桃腺の腫れ、慢性鼻炎、急性腎炎など予防接種の影響がある可能性も考えられる。予防接種の影響の排出のため選択した。気が立っているので眠りずらく早く起きてしまうのかもしれない。アドレナリンのレメディー（Adren-HD9X）を入れた。

- Gundar-w.30c

カルマや障り、ネガティブな想念、傷を負った魂に合う水のレメディー。

脳性麻痺の姉、ASLで亡くなった母、Yさんが1歳ごろ肝臓がんで亡くなった父。父は特攻隊を見送る立場にあり戦後アルコール依存症で苦しんだとのこと。それらを考慮して選択した。

- Ign.

Yさんの症状全てをカバーしているレメディー

## 【経過】

- 旦那さんの大量飲酒が始まり日々色々なことがあった。「レメディィーに助けられ、なんとかやれている。」「自分ができることをやっていく。」とLINEがきた。
- 寝る時は何も考えなくなった。力が抜けた感じになり22時過ぎには眠くなくなってしまふとのことだった。
- 血圧は130～140と安定している。
- 旦那さんの退職が7月中旬に決まった。お母さんと旦那さんが7年振りに故郷に帰り墓まいりをする事になった。その計らいも彼女が自ら考えセッティングしていた。彼女自身に変化の時だったが、旦那さんも同様に状況が急変した。
- 肩凝りがひどいと思っていたが、マッサージに行ったら背中もガチガチに硬いと言われた。マッサージしてもらいに行くなど自分をケアするようになった。

## 【考察】

- 今までならストレスを感じ動揺して血圧が上がってもいい状況だが「自分ができることをやればいい。」と精神的にも落ち着いていた。血圧130～140と安定していた。
- アルコール依存症の旦那さんが突然退職することになった。大変そうに見える状況でも22時過ぎに眠たくなり寝つきがよくなった。1回目の相談会の時は2時に寝て5時頃起きる生活だった。また、夜中のトイレの回数も減ったので睡眠の問題は改善しているといえる。
- 「自分はどうでもいい。死ぬのも怖くない。」と自分を後回しにする傾向がある。マッサージに行ったのは、自分と向き合ういい傾向である。
- 3回の相談会を通して、50年近く所属して宗教団体を脱退した節目にいることや複雑な家庭環境や自分のトラウマについて話してくれた。
- 入信していた宗教団体はコロナ禍で違和感が浮き彫りになったとのことだった。過去の辛い出来事に向き合い振り返り向き合っていた。人生の変わり目に、彼女をサポートできるレメディィーを引き続き選択したい。